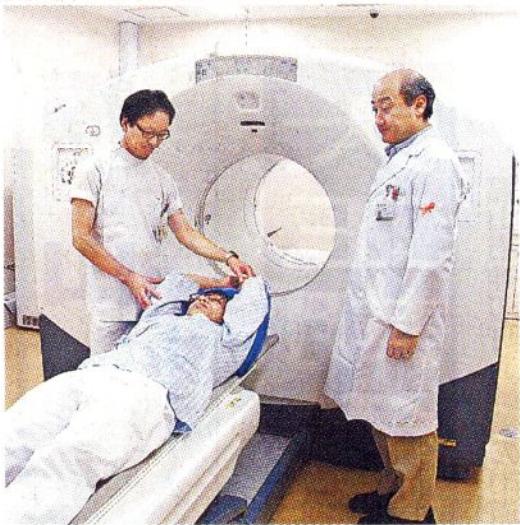


H24, 9.19, 中国新闻网

(第三種郵便物認可)



## PET-CTの導入に向け 準備する放射線技師

安佐市民病院(広島市安佐北区)は10月1日から、がんの早期発見や進行の把握に役立つ陽電子放射断層撮影装置(PET-CT)を稼働する。9月には、化学療法室も拡充。国のがん診療連携拠点病院に指定されて2年半がたち、診療機能の強化が本格化する。(有岡英俊)

PET-CTは体内を断層撮影する機器。従来のCTなどに比べて、小さな腫瘍を見つけることができる。さて、PET-CTは体内を一度に撮影するため、悪性リンパ腫や転移を発見やすく、検査時に体を傷つけることもないとい

う。

南館1階のエックス線フィルム庫を専用室に改修。月約180人を目標に、同病院や他

PET-CTは体内に、全身を一度に撮る。

線ブルーム庫を専用室に改修。月約180人を自安に、同病院や他の医療機関で、がんと診断された人を対象に検査する。

投薬治療に使う化学療法室は南館2階で、ベッドを2床増の13床とし、診察室を設けた。昨年4月に着任したがん薬物療法専門医の北口聰一医師が引き続き診療を担当。7月から

は週1回ペースで、北  
口医師を中心として、  
がんが併発した患者た  
ちを対象に、各診療科  
の医師や看護師が横断  
的に治療方針を取りま  
とめる検討会を開いて  
いる。

680人。指定前の09年比で148人増えた。本年度はさらに南館1階の内視鏡室も1室増の4室にする。がん診療に関する一連の事業費は9億1460万円。

とめる検討会を開いて  
いる。

ET-CT導入や化学療法室の拡充で、有効な治療法を決めやすくなる。検討会も軌道に乗り、病院一体となつてがん治療に取り組む態勢ができてきた」としている。

# PEACE 来月稼働

クリック

陽電子放射斷層攝影  
(PET-CT)